

爬虫類

-はちゅうるい-

からだ うろこ せきつい どうぶつ
 体が鱗におおわれた脊椎動物。
 ちゅうこうせい はちゅうるい おお にっこうよく
 昼行性の爬虫類の多くは、日光浴で
 からだ あたたか かつどう
 体を温めてから活動をはじめる。



□ミシシッピアカミミガメ(カメ目ヌマガメ科)
 め うし あか もよう
 目の後ろに赤い模様があるカメ。
 ようたい ぜんしん あか みどりいろ
 幼体は全身が明るい緑色で、「ミドリガ
 けん かん ぐさ だ
 メ」と呼ばれる。北アメリカ原産の外来種。



□クサガメ(カメ目イシガメ科)
 こうら ほん せんじょう も あ
 甲羅に3本の線状の盛り上がり(キール)
 くら たいしよく
 がある黒っぽい体色のカメ。
 きけん かん ぐさ だ
 危険を感じると臭いにおいを出す。



□ニホンスッポン(カメ目スッポン科)
 ほか こと こうら
 他のカメと異なるやわらかい甲羅が
 とくちよう でき とき しっぽ き はな
 特徴。かみつく力が強く、なかなか離さな
 いので、大きい個体には注意しよう。



□ニホンヤモリ(トカゲ目ヤモリ科)
 じんか しゅうへん せいそく こんちゅう
 人家の周辺に生息し、昆虫やクモなどを
 た け け け
 食べる。指にびっしりと生えた細かい毛を
 つか つか のぼ
 使い、壁を登ることができる。



□ヒガシニホントカゲ(トカゲ目トカゲ科)
 あお せいしやう
 あざやかな青い尻尾は成長するにつれて
 いろ せいだい ぜんしん ちやいろ
 色がうすくなり、成体は全身がうす茶色に
 なる。



□ニホンカナヘビ(トカゲ目カナヘビ科)
 かかわ うろこ なが しっぽ
 ザラザラとした乾いた鱗と長い尻尾が
 とくちよう でき とき しっぽ き はな
 特徴。敵におそわれた時は尻尾を切り離
 し、おとりにして逃げる。



□アオダイショウ(トカゲ目ナミヘビ科)
 じんか しゅうへん せいそく こんちゅう
 人家の周辺にも生息するヘビ。ネズミや
 カエルのほか、木登りが得意で、鳥の巣
 の卵も食べる。毒はもっていない。



□シマヘビ(トカゲ目ナミヘビ科)
 あか こうさい くら ほん もよう とうちゅう
 赤い虹彩と黒い4本のしま模様が特徴の
 こうげき でき せいさく こたい おお
 ヘビ。やや攻撃的な性格の個体が多い
 が、毒はもっていない。



□ヒバカリ(トカゲ目ナミヘビ科)
 さいだい ちい くら
 最大でも60cmほどの小さな黒いヘビ。
 そうちよう ゆうがた かつどう みずべ
 早朝や夕方によく活動し、水辺やその
 しゅうへん ぐさ み ぐさ
 周辺の草むらで見られる。毒はない。



□ヤマカガシ(トカゲ目ナミヘビ科)
 あか くら もよう
 赤と黒のまだら模様をしたヘビ。
 うわ おくば ひじょう きやうりよく ぐさ
 上あごの奥歯に非常に強力な毒をもっ
 ているため、見かけた際には注意が必要。

